

令和2年度 「地域発元気づくり支援金」 事業実施結果一覧表（佐久地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち支援金額	講評
					(円)	
1	地域コミュニケーションシステム構築事業	佐久市	災害時に防災行政無線の情報を「文字」等で届けるなどの情報提供方法の改善や地域をつなぐコミュニケーションツールとして、コミュニケーションシステムを構築し、地域コミュニティの活性化を図る。	6,600,000	5,000,000	希薄化する地域コミュニティの活性化及び地域防災力の向上等につながる新たなシステムを構築した。 今後は、構築したシステムの周知を図り、システムの利用促進による地域活性化等が期待される。
2	南相木村PRキャラクター「カフェバスのちよっくらさん」の活用による村の魅力UP事業！	南相木村	村内外で人気のある村PR動画キャラクター「カフェバスのちよっくらさん」を活用し、村営バスラッピング、スタンプラリー、イベントでの着ぐるみPR等を実施することにより、首都圏からの誘客促進と村民の地域への愛着醸成を図る。	2,184,725	1,495,000	村営バスのラッピングやスタンプラリーの実施を通して、村民のPRキャラクター認知度向上を図った。 今後は、SNS等を活用した村外へのPR促進による村の認知度向上が期待される。
3	東信州中山道の魅力を発信するブランド確立事業	東信州中山道連絡協議会	東信州中山道ウォーキングマップの改定版を作成し、県内関係団体や他県の中山道街道関係団体等に配布することにより、東信州中山道ブランドを確立し、国内に発信して観光客の増加を図る。	722,940	578,000	既存のウォーキングマップに隣接地区にある宿場を加えた改訂版を作成し、県内、県外の関係団体等に配布することで、東信州中山道の広域的な魅力発信を図った。 今後は、地元ガイドの育成や資質向上、他の沿線団体との連携の強化など、観光客の増加に向けた取組が期待される。
4	佐久地域医歯薬かかりつけハンドブック作成事業	一般社団法人佐久医師会	「佐久地域医歯薬かかりつけハンドブック」を作成し、かかりつけの医師、歯科医師、薬局を持つために有用な情報を提供し、「かかりつけ」を持つ家庭の増加を図る。	8,000,000	5,000,000	「かかりつけ」を持つ意義や、佐久地域の医療機関の基本的な情報等をまとめた冊子をリニューアルして配布することで、佐久地域の医療に関する基礎知識の情報発信を図った。 今後は、掲載された情報をもとに、患者の医療機関の選択肢の拡大、医療機関同士の連携のきっかけとなることなどが期待される。
5	2020年度佐久大学発「足の健康サポーター」養成事業	学校法人佐久学園	足育を推進するため、住民を対象にセルフケアの知識や技術を身に付ける動画を制作し、オンライン公開講座を開催して健康寿命の延伸に寄与する。	1,779,172	1,423,000	足の健康についての(基本編・座学)と身体の動かし方(実践編)の動画制作し、オンライン講座の開催等を通して、足の健康サポーターの育成、健康寿命の延伸を図った。 今後は、足育を通じた健康寿命の延伸や地域とつながる機会の創出を図る取組が期待される。
6	ボディスパイダー等を活用した地域の人材育成事業	社会福祉法人御代田町社会福祉協議会	楽しく気軽に取り組める健康づくりの機会を提供することで、地域住民が健康長寿への意識を高め、心身状態の維持・向上を図ることを目指す。更に、事業に参加した住民自身が地域のあらゆる福祉的なニーズへの対応をしていく担い手となるよう、健康で生きがいを高めていくための人材を育成する。	2,333,854	1,751,000	体力・筋力トレーニングマシンボディスパイダーを活用した健康教室の実施や、管理栄養士による栄養バランスのチェック等を行うことで、参加者の体力向上等に寄与した。 今後は、整備した器具の利用を地域に働きかけるなど、地域とつながる機会の創出を図る取組が期待される。
7	小諸ふるさと遺産認定事業	小諸市	地域で保存・継承されているお宝を認定する「ふるさと遺産認定」の実施、遺産集Ⅲの発行等により、地域の方が地域の文化財や伝統文化等を改めて再認識し、文化財等の周辺環境整備、郷土の歴史学習の推進、伝統工芸の普及促進、後継者の育成などに結びつくことを目指す。	551,390	441,000	小諸ふるさと遺産の認定と、認定証交付式や認定遺産を紹介する冊子の刊行により、後世に伝え残していきたい新たな文化的遺産の掘り起こしや認知度の向上を図った。 今後は、ふるさと遺産の更なるPRの促進や、遺産の保存・活用等を通して、地域の活性化につながる取組が期待される。
8	「みよた学」刊行事業	御代田町	郷土史「みよた学」(テキスト)を作成活用することで、幅広い年代を対象に郷土の自然・歴史・文化・社会を深く掘り下げ、郷土に誇りが持てるようにする。	1,027,061	821,000	従来はなかった御代田町の自然・歴史・文化・社会をまとめた「みよた学」を作成し、町内各所に配布することで地域住民の町への愛着醸成を図った。 今後は、対面講座等を継続的に開催していくなど、作成した「みよた学」の有効活用を通して、町に愛着を持つ人を増加させる取組が期待される。
9	歴史的建物の保存再生に向けた「城下町フェスタ」の実施	城下町にぎわい協議会	小諸には歴史的価値のある建物が多く残っているが、商業の衰退や高齢化などから空き家等が増加している状況にあるため、8年間続けてきた「城下町フェスタ」に加え、新たな取組として、空き店舗を活用した「ハイカラモロポップアップショップ」を実施し、歴史的建物の保存再生を図る。	708,238	561,000	古い建物を会場として、「再生」をテーマに着物や家具等の再生品の展示販売を行うとともに、大学生と協力して現在使用されていない蔵の新たな利活用を模索する等、歴史的建物の再利用や古い町並みの魅力のPRを図った。 今後は、古い建物を活用したイベントの継続や、利活用する建物の拡大を通して、城下町のにぎわいが創出されることが期待される。

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費(円)	うち支援金額	講評
					(円)	
10	ふるさとの民話を紙芝居で楽しもう！事業	特定非営利活動法人 本途人舎	東信地域に昔から語り継がれてきた地元の民話を高校と連携して紙芝居を制作し、図書館で読み聞かせをすることで、若い世代が地元の民話に興味を持ち、語り継ぐ当事者となっていくことを目的とする。	560,244	448,000	高校生とも協力しながら、地域の民話や伝説を活用しやすい紙芝居としてまとめることで、次世代への伝承者の育成、民話に関心を持つ人の増加を図った。 今後は、保育園や学校等での読み聞かせ等、地域住民が紙芝居と接する場を増やし、若者の地元への愛着形成等につながる取組が記載される。
11	佐久織り環境整備事業	ぼろ織りを伝えていこう岩村田宿の会	佐久地域の文化財である機織り機の欠損部品の補充や修理を行い、機織り技術を伝承することにより、地域文化とするとともに、観光面や移住促進等での活用を図る。	1,157,200	925,000	機織り機の組立て技術やメンテナンスノウハウの記録(映像化)、メンテナンス後の機織り機の拠点への配置等を行い、機織り文化や技術の継承を図った。 今後は、地域住民が機織りに接する機会を創出し、文化の継承と併せて地域の活性化につながる取組が期待される。
12	創ろう！広げよう！佐久のハーモニー、パート1(音楽で創る佐久のハーモニー)	創ろう！広げよう！佐久のハーモニー！実行委員会	プロの演奏家による中学生へのクリニック、小学生を対象としたリトミック、生徒児童に楽器に触れる機会を作るワークショップなどの音楽活動を通じて、より多くの方々に芸術文化の素晴らしさを知ってもらおう。	591,289	443,000	リトミック等の音楽活動の実施により、学生が音楽に触れ身近に感じる機会を創出し、音楽による文化の振興に寄与した。 今後は、音楽に触れる機会の更なる拡大等を通して、住民の協力を得た地域づくりへの広がりが期待される。
13	創ろう！広げよう！佐久のハーモニー、パート2(演劇で創る佐久のハーモニー)	創ろう！広げよう！佐久のハーモニー！実行委員会	佐久市有形文化財である旧大沢小学校を活用した演劇の公演や小中学生を対象とした講座の開設、演劇祭や能楽公演の開催など芸術活動を通じて、より多くの方々に芸術文化の素晴らしさを知ってもらおう。	4,040,014	3,030,000	文化財を活用した演劇の公演や小中学生を対象とした講座の開設を行い演劇に親しむ場を創出するとともに、能公演の開催による伝統文化の紹介等を行い、演劇による文化の振興に寄与した。 今後は、音楽に触れる機会の更なる拡大等を通して、演劇を通じた地域の活性化への取組が期待される。
14	“跡部の踊り念仏”の保存・伝承事業	跡部踊り念仏保存会	740年に渡って伝承されている跡部の踊り念仏の小中学生向け教材や詳細を記した冊子を作成し、跡部の踊り念仏を保存、伝承していく。	654,360	514,000	学生向けの教材を作成し、体験学習や授業で使用するとともに、既存の冊子の改訂版を作成し、広く配布することで、跡部の踊り念仏の保存、伝承を図った。 今後は、住民等を対象とした学習会の開催等を通して、地域の文化財としての認知度の向上、地域の活性化につながる取組が期待される。
15	子どものファンタジーでまちをわくわくに！プロジェクト かげのはらに本の森をつくろう！	こどもヘンテコまほうラボ	子どもたちに自然の中での工作や絵本をつくるワークショップ(通信型)を体験してもらい、自ら“楽しみ”をつくり出すことに挑戦してもらおうとともに、地域資源に対する興味を深める。	446,519	334,000	通信型でのワークショップを通して、こども達が身近な自然と向き合い、想像力や地域資源に対する興味を養う場を創出した。 今後は、参加するこども達の増加や、こども達と地域住民の交流が深まるような取組が期待される。
16	若い世代へソバ打の継承と食文化の復権と拡大事業	まちづくり協議会みよた	ソバ打教室を開設し、地元で高校生から社会人の広い世代にソバ打の方法と技術を伝えることを目指し、ソバ打ちを習得することで、自家栽培自家消費の拡大や健康と食生活を身近に感じる機会をつくり、食の安全に対する意識から伝統食の良さや健康への意識の啓発を図る。	1,315,284	1,052,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた各種イベントを中止したものの、感染拡大に注意しながら試食会や子供食堂における体験学習会を開催し、ソバ打ちの継承や地元ソバのブランド化を図った。 今後は、より多くの人々がソバ打ちに触れる機会を創出し、ソバ打ち技能の継承や地元ソバのブランド化を図る取組が期待される。
17	地域を支えるLPガス 保安・防災体験出前教室	長野LP協会 佐久支部	LPガス災害対応機器の取扱等に係る冊子を作成・配布、保安・防災体験教室を開催することにより、地域住民にLPガスの知識と災害対応機器を認知してもらい、災害時の有効活用を図る。	1,183,338	913,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、保安・防災体験出前教室の開催回数が減少したが、災害対応機器を紹介するチラシ等を配布することで、LPガスへの理解や災害時のLPガス機器の認知度向上による地域防災力の強化を図った。 今後は、継続的な出前教室の開催等を通して、地域防災力の向上につながる取組が期待される。
18	常和を元気にする復興まちづくり事業	佐久市常和区	令和元年台風19号により大きな被害を受けた常和区では、復興まちづくり通信の発行、防災リーダーの育成、簡易雨量計の設置、復興拠点の整備により、地域防災力の向上を図り、復興に向けたまちづくりを推進する。	872,771	690,000	令和元年台風19号による区への大きな被害を受け、地域住民が主体となった避難体制の強化や、復興状況の区民への周知、復興拠点の整備による新たな交流の創出等、地域防災力の向上、地域コミュニティの再生を図った。 今後は、自主防災組織の強化や、災害状況の後世への伝承、他地域との連携を図る取組が期待される。
19	入沢災害復旧・復興推進事業	入沢災害復旧・復興協議会	令和元年台風19号により大きな被害を受けた入沢区では、被災箇所の調査や強固な防災体制を検討する協議会を開催するとともに、災害の記録誌を編纂、防災訓練の実施を通して、災害に強い地域づくりを推進する。	2,782,010	2,211,000	令和元年台風19号による区への大きな被害を受け、台風襲来時の早期対応や地域住民同士の助けあいの様子をまとめた記録誌を、区民が協力して作成することで、災害記録の未来への伝承、地域住民の防災意識の向上を図った。 今後は、記録誌を活用した防災意識の向上や、地域コミュニティの維持・向上に向けた取組が期待される。

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費(円)	講評	
					うち支援金額(円)	
20	佐久地域の重要な地域資源「中山道」街道観光の推進事業	佐久商工会議所	佐久地域の地域資源である「中山道」の宿場ツアーを実施し、オリジナル中山道マップの作成やモデルコースを掲載したHPを作製することにより、中山道の観光推進を図る。	671,000	536,000	地域住民とガイド目線を活かしたマップの作成や、HP上でモデルコースを公開することで、中山道の認知度向上、アフターコロナの観光客増加を図った。今後は、他の中山道関連団体との連携など、より広く魅力をPRし、地域を訪れる観光客数の増加につながる取組が期待される。
21	佐久七十二候～Saku's 72 fragments～	D39	佐久の季節の風景や暮らしを写真と言葉でデザインし表現することで、佐久地域の魅力を伝えとともに、佐久地域の魅力の再発見につながる書籍を制作し、観光振興や移住定住促進につなげる。	4,815,804	3,852,000	佐久地域の「美しい空」「暮らし」「風景」等の魅力を表現した写真集を作成することで、地域の魅力の再発見や移住者、交流人口の創出を図った。今後は、佐久地域内外を問わず、多くの人が写真集を通して佐久地域の魅力を知る機会の創出や、幅広い分野での写真の活用が期待される。
22	魅力あふれる天空の小海線を世界へ！小海線PR事業	小海線沿線地域活性化協議会	東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う訪日外国人の増加を想定し、小海線の魅力を発信し、小海線を知ってもらう機会づくりを行う。	3,819,721	3,005,000	小海線応援大使が歩きながら沿線地域(北杜市、小海町、佐久市)の様子等を紹介する動画を作成するとともに、小海線＝青空・星空がイメージできる記事を多言語化して公開することで、小海線の認知度向上、インバウンド対策の推進を図った。今後は、作成した動画等の活用機会を増やし、小海線沿線地域の活性化に期待する。
23	KOMORO AGRISHIFTプロジェクト	小諸市	平成30年度から引き続き土壌診断の実施、KOMORO AGRICAFÉの開催、Webサイトでの商品販売体制の構築を行い、豊かな土壌や里山の農風景の維持や小諸の農産物が消費者へとつながることにより、農業振興及び特色ある観光地づくり及び元気なまちづくりを図る。	3,961,430	2,971,000	継続した土壌の健康診断、アグリカフェの開催、Webサイトでの商品販売体制の構築を通して、地元農産物のPRを図った。今後は、これまでの取組を元に小諸基準が作成され、小諸市の土に着目した特色ある農産物のPR等により、農業振興が図られることを期待する。
24	「小諸の米」ブランド化事業	小諸市	水稲生産者のスキルアップの為に専門家から最新の技術を学ぶ機会をつくり、「小諸の米」及び地域の米の魅力向上のために「お米のコンクール」を開催することで、水稲生産者の意欲向上、地域の機運の醸成を図り、持続的可能な農業を目指す。	1,620,628	1,296,000	専門知識を持った講師による鑑定士養成講座や、地域で一番おいしいお米を決めるコンクール等を開催することで、地域のお米の魅力向上、収益力の高い農業構造の実現を図った。今後は、生産者のスキルアップや、ブランド化に向けた取組を通じて、地域の農業振興につながることを期待される。
25	佐久穂町ブルーのブランド化による地域活性化事業	佐久穂町	佐久穂町産ブルー「オータムキュート」のPRデザイン・化粧箱制作や首都圏での販売促進イベントの開催等により、特産品ブルーの付加価値を高め、ブランド化を図る。	837,650	670,000	品質基準づくり、独自のブランド名やデザイン案の考案、東京での販売促進イベントを通して、生食ブルーの魅力発信、ブルーの出荷価格の向上や、出荷量、生産者の増加を図った。今後は、PR活動を継続しながら、地元住民との情報共有など、地域活性化につながる取組が期待される。
26	くつかけ食とまなびの街プロジェクト	軽井沢町商工会中軽井沢支部	住民を対象にオンラインで「くつかけヒストリア(オンライン郷土史講演会)」「中軽井沢まりづくりワークショップ」を実施することにより、中軽井沢の宿場町以前の歴史を知ってもらい、地域への誇りと愛着を高めることを目指す。	1,069,330	855,000	地域住民へのアンケート調査や意見を語り合うワークショップの開催、講師を招いた郷土史講演会等を通して、住民の地域への愛着の造成を図った。今後は、より多くの住民が参画できる取組や、広域的な交流が産まれる取組が期待される。
27	学生による地域課題解決事業「タテシナソン」	立科町	町内事業者が抱える課題に対して、若者の視点を通じた解決策を提示することで、町内事業者の「稼ぐ力」の向上とともに、若者と町民との交流を生み出し、UIJターン数の増加につながる関係人口を生み出す場を作っていくことを目指し、過去にタテシナソンに関わった人たちにに関する記事を作成し、タテシナソン公式Webページに掲載する。	1,094,225	875,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた学生を集めたイベントの開催はできなかったが、次年度以降につながる取組として、これまでのタテシナソンの効果や影響をまとめたインタビュー記事を、タテシナソン公式Webページ掲載した。今後は、タテシナソンにおけるアイデアの実現に向けた取組や、参加学生との長期的な関係の構築により、地域活性化につながることを期待される。
28	ワーケーションや開発合宿による新しい働き方誘致事業	立科町	企業の開発合宿の開催を誘致することで、町と企業の関係性を構築してサテライトオフィス等の誘致を狙い、町内に雇用創出して今後の産業育成につなげる。	3,080,000	2,310,000	プロモーション動画のWebページへの掲載を始めとしたワーケーションやサテライトオフィスの誘致や、参加企業と住民とのディスカッションの開催等を通して、町内の雇用創出、産業育成を図った。今後は、更なるPRの拡充や、参加企業の問い合わせ等に対応する窓口の創出により、観光面を中心とした地域活性化につながることを期待される。
29	若者のUIJターン地元企業就職の促進事業	佐久商工会議所	佐久地域企業ガイドブックを作製し、高校生への配布やSNS等で情報発信を行い、地元企業を広くPRし、UIJターンの就業促進を図る。	2,916,100	2,112,000	地元企業への取材に基づく誰にでも読みやすい企業紹介や、実際にUIJターンした人のインタビュー記事等をまとめた冊子を作製・配布することで、地元企業のPR、UIJターンの促進を図った。今後は、より広域的なPRや、更なる企業情報の充実等、佐久地域へUIJターンする人の増加に寄与する取組が期待される。

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち支援金額 (円)	講評
30	わが町の文化芸術と資源で被災地を復興する元気づくり支援プロジェクト	佐久穂町	町の文化芸術資産を活用したコンサートや特産の花を活かした花展、防災講演会の開催等により、住民に町の素晴らしさを再認識してもらい、令和元年台風19号の被災地域の復興支援と災害の教訓の継承を図る。	3,098,773	2,263,000	スタインベルクピアノを用いたコンサートの開催、町の特産である花を用いた花展の開催、過去の災害を語り継ぐ講演会の開催等を通して、令和元年台風19号の復興支援、住民の防災意識の向上を図った。今後も、定期的な災害に関する講座の開催や、特産の花を活かしたイベントの開催等を通して、被災地の復興、特産品のPRの発信が期待される。
31	未来を拓く地域づくり推進事業	佐久広域連合	思い出のフォトコンテストやシビックプライド講演会、小学生による未来へのメッセージイベントなど過去、現在、未来をテーマとした事業の実施により、佐久地域に暮らす住民自身が地域づくりのために出来ることを考える機会を創出し、未来の担い手を育成することを目指す。	5,277,800	3,643,000	佐久地域の風景、人々の暮らしをテーマにしたフォトコンテストの開催、佐久地域の未来を高校生と考える講演会の開催等を通して、地域の価値を再発見して共有することで、若い世代を中心に未来の担い手の育成を図った。今後も、住民が地域の未来について自ら考える機会の創出等を通して、地域の活性化につながる取組が期待される。